

児童朝会 講話 ■令和5年 1月16日

No.27 「けじめ 2」

おはようございます。

校長先生の言葉は、皆さんの心に届いていますか？

さて先週のお題はなかなか難しかったようですね。ではあらためて考えていきましょう。この言葉を何と読むのでしょうか？

一年の（数）は（大晦日）にあり。

一年の「かず」は大晦日にありでは意味が通りません。そう「かず」「すう」ではありません。

そこで、もとの文章から考えてみましょう。

一年の計は元旦にあり。

今年の計画は、年のはじめの元旦にたてるということですという意味でしたね。

その反対で、一年の反省は大みそかにするということですという意味ですが、「数」を反省とは読まない。では、なんと読むのか。

近くの人と聞き合ってみてください。

ヒントは、最初の言葉は「け」です。

そう、「けじめ」です。

「一年の「けじめ」は大みそかにあり」と読むのです。

みなさんは、けじめができていますか？

もう、冬休みでもお正月でもありません。

気持ちを切り替えて、新しい年をがんばりましょうという昔の言葉なのです。

では、今週のお題。

今年のみなさんの目標を聞かせてください。

もしよかったら、校長室前のボードに書き込んでみてください。

今日も最後まで聞いていただきありがとうございました。